

AMDA インドネシア豪雨被災地 看護師2人を派遣

インドネシアで発生した豪雨災害の被災地支援のため、国際医療ボランティアAMDA（岡山市北区伊福町）は7日、被害が甚大だったスマトラ島に看護師2人を派遣した。現地支部の医師らと合流し、避難所で医療支援を行う。

AMDAによると、同国では11月23日以降、豪雨で洪水や土砂崩れが各地で発生。7日時点で916人が死

亡、274人が行方不明となっている。

派遣されるのは、AMDA緊急救援ネット

ワークに登録する押谷晴美さん（45）＝滋賀県、菅原久美子さん

（46）＝長野県。7日夕にJR岡山駅を出発し、関西国際空港を経由して8日にスマトラ島に入る。1週間ほど活動し、支援ニーズに応じて延長する。

出発前にAMDA職員と打ち合わせをする押谷さん（中央）と菅原さん（左）

岡山駅で押谷さんは「医療の提供だけでなく被災者の心のケアも心がけ、不安を和らげたい」と話した。

（小川耕平）

